



北海道支援情報ナビ ①

北海道支援情報ナビとは…

2020年度の後方支援プロジェクトの調査結果から支援情報検索チャットBOT「北海道支援情報ナビ」を開発。

困りごとの内容から支援情報を検索できる仕組みです。

北海道庁DX課と連携し、検索結果のゴール情報を**オープンデータ化**することによって正確な支援情報の永続的な提供、管理コストの軽減などを目指し、日々改善しています。支援員の方が検索して活用中！

地域の社会資源情報のデータ収集も行っています。

地域づくりやプラットフォーム整備にも関連していく情報としてオープンデータ化しやすい形でデータ収集中



SNS相談やチャットボット開発の情報交換会もやりたいな…

登録者数 (10/20)
2800人突破！

TikTokで1500人がフォロー！！

本事業はNPO法人コミュニティワーク研究実践センターが福祉医療機構(WAM)の助成を受けて実施しています。



北海道支援情報ナビ ② 孤立層の把握



北海道支援情報ナビとフードバンクの連携効果について

北海道支援情報ナビからフードバンクの緊急食糧支援を申込みます！

- ・ 6月までに **164人**がフードバンクを申し込み
- ・ 単身世帯・ひとり親家庭・夫婦がいる家庭が**約3割**づつ
- ・ 就労収入の減収・離職で生活が苦しくなっている家庭が**67%**
- ・ **40%**が借金あり（そのうちの約半分が消費者金融）
- ・ **初めて**フードバンクを利用する人が**97%**
- ・ **相談できる人がいない**の回答が**50%**
- ・ **5人に1人（20%）**が相談支援機関への情報提供を**希望している**

フードバンクと連携させてアウトリーチ機能として活用しています！！

明らかに今まで行政機関や相談支援期間経由ではつながっていない **[孤立している]** 層に情報が届いている！！

生活困窮者の自立相談に繋げるように仕組みを構築中！！

164人にフードバンクが届いた！！

北海道支援情報ナビ

生活 仕事 お金

家族関係 心と体の悩み

などの困りごとに対し
北海道の相談窓口を
自動応答にてご案内します。
検索した相談窓口へ直接ご相談ください。

LINEで
お友達登録
してね！



お金の
こと

仕事の
こと

緊急の
困りごと

心と
からだの
悩み

家族
関係のこと

LINEの
メニューから
相談内容を選んで
相談窓口を
検索できます

LINE BOTとのやりとりの内容・個人情報などが保存・公開されることはありません。

実施団体 NPO法人コミュニティワーク研究実践センター

本事業は独立行政法人福祉医療機構（WAM）の助成を受けて実施しています。山形県産産



通信アプリLINEを活用し、生活・家族関係・心と体の悩みなどの困り事に対する、道内の相談窓口を紹介する「北海道支援情報ナビ」を運営するコミュニティワーク研究実践センターと事業連携。

<北海道支援情報ナビについて>

- ・令和3年12月に、コミュニティワーク研究実践センターが開発（同法人は生活困窮者支援や支援に携わる団体に対する中間支援などを実施）。
- ・下記QRコードでLINEに友だち登録することで利用可能。
- ・金銭面や家族関係、心身の悩みなど5種類の「困りごと」を選び、質問に回答すると、状況に応じた相談窓口が表示される。
- ・これまでは、道や市町村の支援制度や行政の相談窓口を中心に掲載しており、道との連携により、登録を希望する民間団体を募集し、支援情報の充実を図る。



<連携の概要>

<道の役割>

- ・道の支援制度や相談窓口を積極的に登録
- ・市町村や社協等の協力のもと、民間団体に登録の呼びかけ
- ・本取組に係る広報活動

<コミュニティワーク>

- ・北海道支援情報ナビの運営・管理。支援情報の更なる充実。
- ⇒ **様々な困難や課題を抱える方々への支援情報の更なる充実に向け、相互に協力**

【今後の予定】

2月以降、登録を希望する民間団体を募集し、活動実態を確認の上、順次、登録予定

<連携の効果>

<道民>

- ・自身の状況に応じた支援制度や相談先を手軽に探せるようになる。
- ・道との連携により、安心して北海道支援情報ナビを利用できる。

<北海道>

- ・幅広い世代の道民への制度や相談窓口を周知できる。
- ・支援団体に対する助成制度などの情報発信が可能となる。
- ・情報発信ツールの開発や運営管理に関する技術共有等ができる。

<コミュニティワーク研究実践センター>

- ・民間団体等の支援情報の充実による新規・継続利用の促進。
- ・道との連携による利用者や支援団体からの信頼獲得。

オープンデータって？



つまり行政が公開しているものやHPなどで公開されたデータは基本的にすべてオープンデータです！

「機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ」であり「**人手を多くかけずに**データの二次利用を可能とするもの」

民間団体等の支援情報を北海道庁・NPOサポートセンターと協力して募集しました！

79団体が登録！！

孤独・孤立に悩む方への支援に取り組む民間団体一覧【北海道】事業分類別表示

https://kohoshien.cmtwork.net/dataset/?id=404993f2-e20a-42a3-96cb-d812f75b87cc&project_type=101
https://kohoshien.cmtwork.net/dataset/?id=404993f2-e20a-42a3-96cb-d812f75b87cc&project_type=102
https://kohoshien.cmtwork.net/dataset/?id=404993f2-e20a-42a3-96cb-d812f75b87cc&project_type=103
https://kohoshien.cmtwork.net/dataset/?id=404993f2-e20a-42a3-96cb-d812f75b87cc&project_type=104
https://kohoshien.cmtwork.net/dataset/?id=404993f2-e20a-42a3-96cb-d812f75b87cc&project_type=105
https://kohoshien.cmtwork.net/dataset/?id=404993f2-e20a-42a3-96cb-d812f75b87cc&project_type=106
https://kohoshien.cmtwork.net/dataset/?id=404993f2-e20a-42a3-96cb-d812f75b87cc&project_type=107



オープンデータを活用することで、今後は一つの元データを更新するだけで表示が変更されます！！

オープンデータをそろえると何ができるの？



相談支援機関等の窓口検索が容易になることで問い合わせ対応の削減
HP上ではオープンデータを活用することによりURLが変わらない表示ができる

No	全国地方公共団体コード	都道府県名	市区町村名	タイトル (制度名)	サブタイトル (通称)	サービス種別	(個人対象) 行政サービス分類 1	(個人対象) 行政サービス分類 2
	全国地方公共団体コード (6桁コード) を入力。	情報の管理主体である地方公共団体名について、都道府県名を記載。	情報の管理主体である地方公共団体名について、市区町村名を記載。都道府県については記載不要。	支援制度のタイトル (制度名) を入力。40文字以内で、改行や半角カナは含めないようにする。(40文字を超えるときにはサブタイトルを活用)	支援制度にサブタイトルや通称がある場合に入力。40文字以内で、改行や半角カナは含めないようにする。	101: 制度事業 102: 届出・認可 103: 民間独自事業	101: 届出 201: 手当・助成金等 202: 現物支給・貸与 203: 融資・立替 204: 免除・猶予・控除 205: 支援サービス 301: 教室・講習会 302: イベント 401: 相談 501: 施設 601: 情報提供 602: お知らせ	101: 届出 201: 手当・助成金等 202: 現物支給・貸与 203: 融資・立替 204: 免除・猶予・控除 205: 支援サービス 301: 教室・講習会 302: イベント 401: 相談 501: 施設 601: 情報提供 602: お知らせ
	必須	必須 (管理者入力)	必須	必須	任意	必須	任意	
1	010006	北海道	空知	生活困窮者自立支援制度	そらち生活サポートセンター	101: 制度事業		
2	010006	北海道	石狩	生活困窮者自立支援制度	くらしサポートセンターとうべつ・し	101: 制度事業		
3	010006	北海道	後志	生活困窮者自立支援制度	くらし・しごと相談処しりべし	101: 制度事業		
4	010006	北海道	胆振	生活困窮者自立支援制度	生活困窮者サポートセンターいさむ	101: 制度事業		

特に平時に情報を共有できていないと緊急時には使えない!!!

相談窓口 (行政サービス) のオープンデータ整備はコロナを含む、災害対応分野で進みつつあるが、平時の福祉には十分展開できていない

北海道支援情報ナビが目指すもの

- 孤立し困った人がすぐに制度や支援にたどり着けるツール（アウトリーチ）
- 「まだ」困ってない人も制度や支援が身近に感じられる検索ツール
- 支援員も最新の支援情報を検索できるツール

制度情報の
オープンデー
タ化について
ご協力お願い
します！

支援情報の更新をした瞬間、汎用したデータが書き換わりします！
最初はちょっとだけめんどうくさいけれど、今後の管理・運用コスト
が削減されます！
また、北海道支援情報ナビ以外でも、例えば、
「女性支援をしている団体一覧」などをオープンデータ化するとそ
の分野で支援情報を共有し、活用しやすくなります

- どんな使い方があるか、アイデアソン、ハッカソンと呼ばれる手法で、地域住民、民間企業を巻き込んだ形で考える場づくりが重要。（まさに官民連携のプラットフォーム）
- 多様な活用方法が提案され、データ整備のニーズが高まることで、行政サイドのデータ整備が促進される。

各SNSアカウントについて



北海道支援情報ナビSNSアカウントでは支援情報を定期的に発信しています。



是非フォロー・シェア等拡散をお願いします!!



Twitter

https://twitter.com/shien_joho_navi



Face Book

<https://www.facebook.com/hokkaido.shien.joho.navi>



Instagram

<https://www.instagram.com/hokkaido.shien.joho.navi/>



TikTok

<https://www.tiktok.com/@shienjohonavi>



北海道支援情報ナビポータルサイトも開設!! <https://shien-navi.net>

